

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U) (11)実用新案登録番号

実用新案登録第3077657号
(U3077657)

(45)発行日 平成13年5月29日(2001.5.29)

(24)登録日 平成13年2月28日(2001.2.28)

(51)Int.Cl ⁷	識別記号	F I
A 6 1 B 5/00	101	A 6 1 B 5/00 101 E
	102	102 C
G 0 1 K 7/00	341	G 0 1 K 7/00 341 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 8 数)

(21)出願番号 実願2000 - 8087(U2000 - 8087)

(22)出願日 平成12年11月13日(2000.11.13)

(73)実用新案権者 599140367

捷威科技股 分 有限公司

台湾台北県三重市光復路一段88号7樓

(72)考案者 游 朱義

台湾台北県三重市光復路一段88号7樓

(74)代理人 100093779

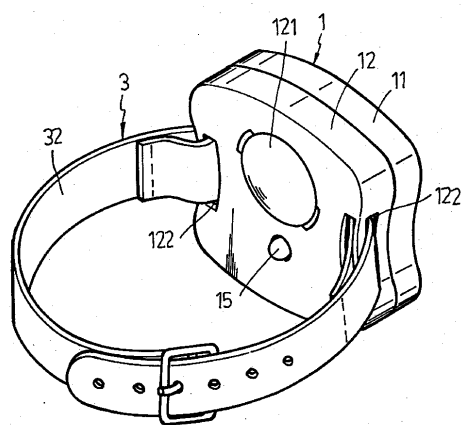
弁理士 服部 雅紀

(54)【発明の名称】 体温の監視測定装置

(57)【要約】

【課題】 量測位置にかけて貼り付け、長時間体温を検知測量することができ、ワイレスでメッセージを送して、アラームで知らせる体温の監視測定装置を提供する。

【解決手段】 測量装置1および受信器からなり、内部に感知センサーおよび表示パネルが接続されている検知測量基板と発射基板が設けらる。感知センサー15は人体皮膚に接触し体温を測るために殻体の下方から露出して設けられている。発射基板によりメッセージが發送される。測量装置の下方殻体両側辺には係止孔122が設けられ、測量装置を所定位置にかけて貼り付けるための係止ユニット3が設けられている。受信器に内部には、測量装置からのメッセージを受けて報知するための音声出力用ブザーを有する受信基板が配置され、体温が警戒値を超過した場合に、前記測量装置はワイレスでメッセージを發送し、前記受信器はメッセージを受けて、アラームにより報知することを特徴とする体温の監視測定装置。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 測量装置および受信器を含むワイヤレスの体温の監視測定装置において、前記測量装置の内部には、感知センサーおよび表示パネルが接続されている検知測量基板と発射基板が設けられ、前記感知センサーは人体皮膚に接触し体温を測るために殻体の下方から露出して設けられ、前記発射基板によりメッセージが發送され、前記測量装置の下方殻体両側辺には係止孔が設けられ、前記測量装置を人体の所定位置にかけて貼り付けるための係止ユニットをかけて位置が固定され、前記受信器の内部には、前記測量装置から發送されたメッセージを受けて通知するための音声出力用ブザーを有する受信基板が配置され、体温が警戒値を超過した場合に、前記測量装置はワイヤレスでメッセージを發送し、前記受信器はメッセージを受けて、アラームにより通知することを特徴とする体温の監視測定装置。

【請求項2】 前記係止ユニットは測量部位の大きさに応じて、位置決め距離を調整可能な伸縮バンドまたは調整帯により構成されていることを特徴とする請求項1記載のワイヤレス体温の監視測定装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の測量装置を示す外観図である。

【図2】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の測量装置の測量検知基板を示す説明図である。

【図3】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の測量装置の発射基板を示す説明図である。

【図4】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の受信器を示す立体外観図である。

【図5】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の受信器の受信基板を示す説明図である。

【図6】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の第2種係止ユニットを示す立体外観図である。

【図7】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の第3種係止ユニットを示す立体外観図である。

【図8】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の第4種係止ユニットを示す立体外観図である。

【図9】本考案の一実施例による体温の監視測定装置の第5種係止ユニットを示す立体外観図である。

【図10】本考案の一実施例による測量装置の実施状態(一)を示す説明図である。

【図11】本考案の一実施例による測量装置の実施状態(二)を示す説明図である。

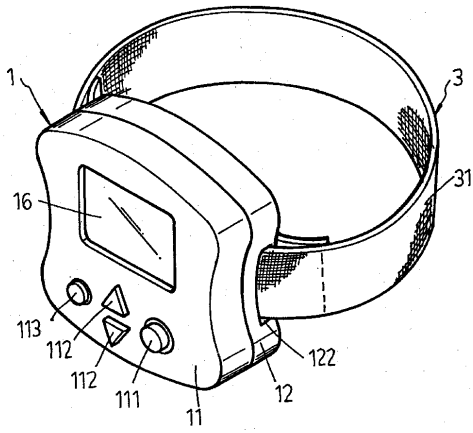
【図12】本考案の一実施例による測量装置の実施状態(三)を示す説明図である。

【図13】本考案の一実施例による測量装置の実施状態(四)を示す説明図である。

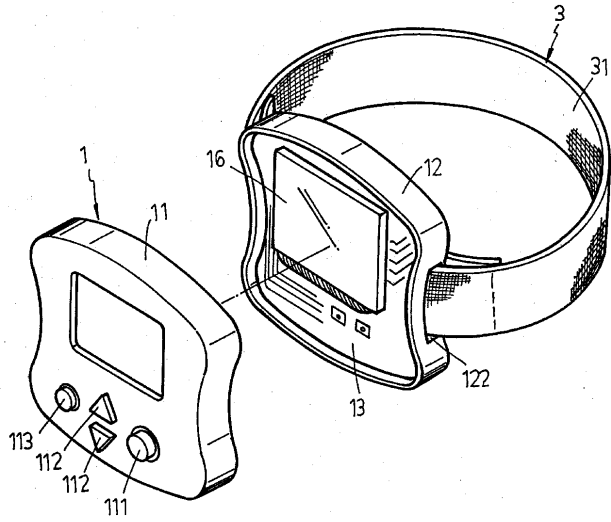
【符号の説明】

1	測量装置
2	受信器
3	係止ユニット
1 1	主機上側カバー
1 2	主機下側カバー
1 3	検測基板
1 4	発射基板
1 5	感知センサー
1 6	表示パネル
1 7	電池
1 8	アンテナ
2 1	サブ装置の上側カバー
2 2	サブ装置の下側カバー
2 3	受信基板
2 4	アンテナ
2 5	ブザー
2 6	電池
3 1	バンド
3 2	係止孔帯
3 3	ボタン帯
3 4	弾性ボタン接続帯
3 5	毛氈粘着帯
1 1 1	スイッチキー
1 1 2	セットキー
1 1 3	モードキー
1 2 1	電池飾りカバー
1 2 2	係止孔
2 1 1	スイッチキー
2 1 2	黄色パイロットランプ
2 1 3	赤いパイロットランプ
2 2 1	電池飾りカバー

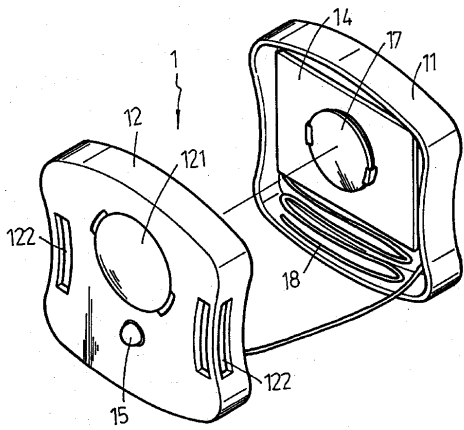
【图 1】



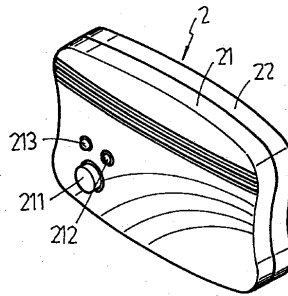
【图 2】



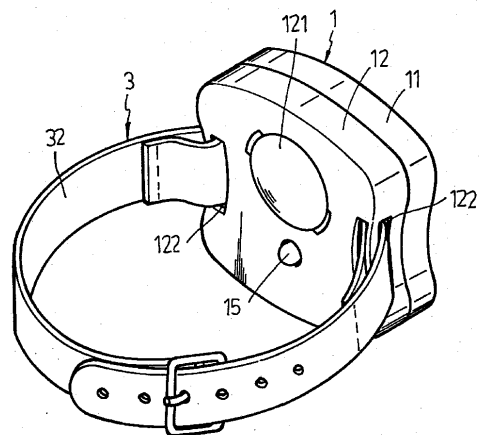
【图 3】



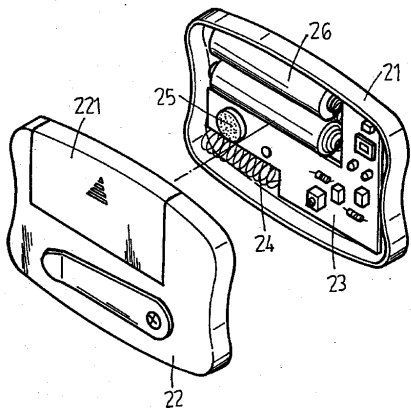
【图 4】



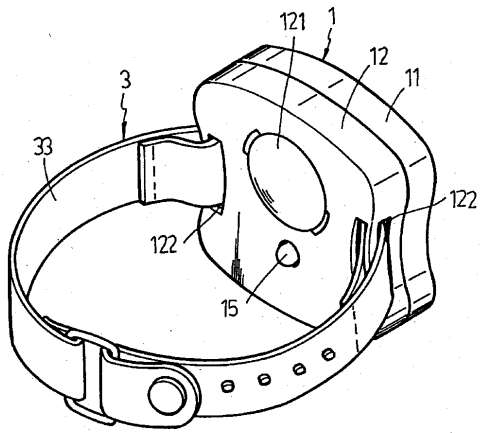
【图 6】



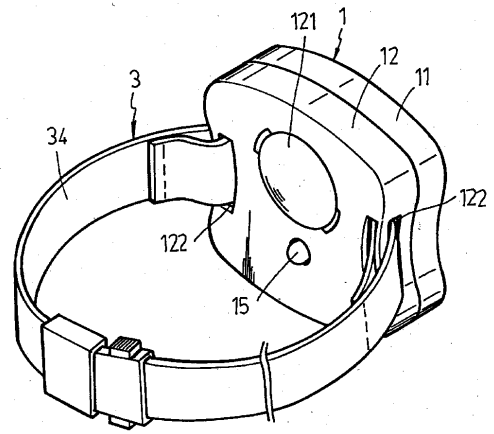
【图 5】



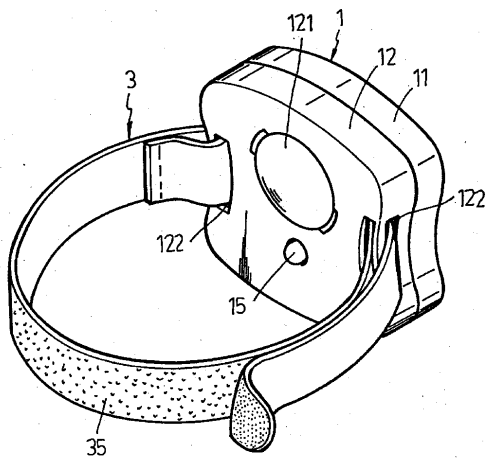
【图7】



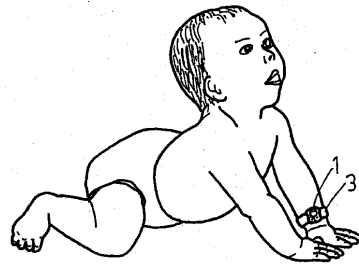
【图8】



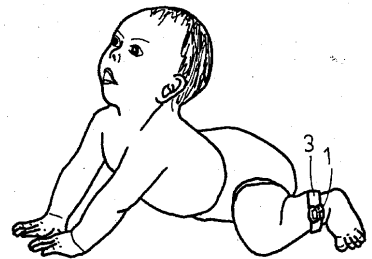
【图9】



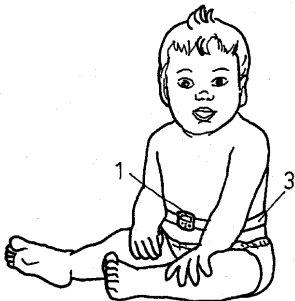
【图10】



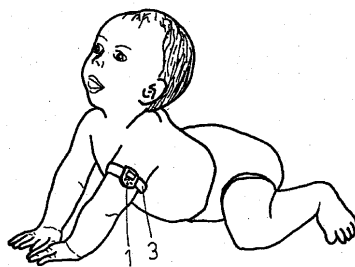
【图13】



【图11】



【图12】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案はワイヤレスの体温の監視測定装置に関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来の人体体温検知測量装置は、体温計、電子体温計または耳の温度ガンなど補助の器材を利用して検知測量する。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

しかしながら従来使用の補助器材はいつも人間に依頼して、随時随所に注意および注視しなければならない。また補助の器材の検知測量方式はランダムサンプルで、長時間位置を決めて監視測量することができない。夜間、患者のそばに、看護者がいないときに、体温に異常が起きても、知らせることができない。このため腹部にかけて、アラーム機能を持つ監視測量器材を研究開発したが、実用すると、横臥して体をひっくり返しまたは移動しているうちに、ユーザーに不快感を与える。従来の監視測量方式は血液の流れを制御する人体の心臓からとおく離れるため、測定の精密正確程度には、大きな誤差がでて、理想的だと言えない。

【0004】

したがって、本考案の主な目的は、随時随所で、世話される人間の体温調子が分かり、看護者がいないワイヤレス体温監視測定装置を提供することにある。

本考案のもう一つの目的は精密かつ正確に体温を測量し、着脱快適、安定かつ堅固な位置に決めることのできるワイヤレス体温監視測定装置を提供することにある。

【0005】**【課題を解決するための手段】**

上述の課題を解決するために本考案の請求項に記載の体温の監視測定装置は、測量装置およびワイヤレスの受信器から構成されている。

測量装置の内部には、感知センサーおよび表示パネルが接続されている検知測量基板と発射基板が設けられている。感知センサーは人体皮膚に接触すると体温を測るように殻体の下方から露出して設けられている。発射基板によりメッセージが發送される。

【0006】

測量装置の下方殻体両側辺には係止孔が設けられ、測量装置を人体の所定位置にかけて貼り付けるための係止ユニットをかけて位置が固定される。

受信器に内部には、測量装置から發送されたメッセージを受けて報知するための音声出力用ブザーを有する受信基板が配置されている。

体温が警戒値を超過した場合に、測量装置はワイヤレスでメッセージを發送する。受信器はメッセージを受けて、アラームにより報知する。

係止ユニットは測量部位の大きさに応じて、位置決め距離を調整可能な係止孔帯、ボタン帯、弾性ボタン接続帯、あるいは毛氈粘着帯などの伸縮バンドまたは調整帯により構成されている。このため、測定装置は必要とする位置に固定可能である。

【0007】

【考案の実施の形態】

以下、本考案の実施例を図面に基づいて説明する。

まずは、図1、図2、図3、図4および図5に示すように、本考案の実施例による体温の監視測定装置は、測量装置1および受信器2からなる。測量装置1の殻体は上側カバー11、下側カバー12を相互に接合して形成されている。その内部には、検知測量基板13および発射基板14が備えられている。検知測量基板13は殻体の上方に配置され、感知センサー15および表示パネル16が接続されている。感知センサー15は下側カバー12の下から露出され、人体皮膚に接触すると、体温を測る。表示パネル16は上側カバー11の上方から露出され、測定データを表示する。発射基板14は殻体の下方に配置され、電源を供給する電池17が備えられる他、メッセージを發送するアンテナ18が接続されている。上側カバー11には、電源を開閉させるスイッチキー111、音声および温度値を調整する設定キー112がツーセット、測量モードを選択するモードキー

113が設置されている。それに対して、主機下側カバー12には、電池17を遮断して、または電池17を引いて取り換える電池の飾りカバー121が設けられている。

【0008】

下側カバー12両側辺には、係止孔122が設けられ、係止ユニット3をかける。ユーザは係止ユニット3をかけて位置決めることにより、測量装置1を安定かつ堅固に貼り付け、体温を検知測量する。

【0009】

受信器2の殻体はサブ装置の上側カバー21、サブ装置の下側カバー22で、相互に接合して、形成されている。内部には受信基板23が配置されている。受信基板23には、メッセージを受信するアンテナ24、音声が出力されるブザー25、電源を供給する電池26が備えられている。サブ装置の上側カバー21には、電源を開閉させるスイッチキー211、受信状態表示のためにつけられた黄色いパイロットランプ212、電池消耗を表示する赤いパイロットランプ213が設置される。サブ装置の下側カバー22に、電池26を遮断して、または電池26を引いて取り換える電池の飾りカバー221が設けられている。

【0010】

【考案の効果】

上述の構造で、本考案の測量装置1を動作する場合、まずスイッチキー111を押し、電源を導通させ、測量の作業を行う。その次、モードキー113を利用して、適当的な測量上、下を選択する。設定キー112を調整し、温度の測量上、下制限警戒値を設定すると、表示パネル16に設定の警戒値をあらわす。それから、係止ユニット3で、測量装置1を最適な測量位置にかけることにより、感知センサー15を人体皮膚に貼り付けて、体温を検知測量する。同時に、受信器2のスイッチキー211を押し、電源を導通させ、受信監視測量の作業を行う。測量装置1は発射基板14におけるアンテナ18で、メッセージを送信させ、受信器2のアンテナ24で、メッセージを受ける。それで、監視者は随時随所で、現在の体温状態が分かる。長時間体温を監視測量する効果を達成する。体温が警戒値を超過する場合に、受信器2のブザー25がアラームを知らせる。したがっ

て随時随所で現在の体温状態が把握可能で、看護がなくても、体温の監視測定機能が発揮される。

【0011】

図1および図6から図9に示すように、上述の係止ユニットは両端を測量装置1の係止孔122に、伸縮できるバンド31、または調整帯が使用されている。調整帯の例をあげると、係止孔帯32、ボタン帯33、弾性ボタン接続帯34、または一端を測量装置1の係止孔122に位置決め、もう一端を測量部位に応じて、位置決め距離を調整するという毛氈粘着帯35などがある。測量装置1が測量部位に応じて、位置決め距離を調整するという係止ユニットを経由して、ユーザにとって、図9から図13に示すように、着脱快適、安定かつ堅固に位置が決められ特性が十分だと言える。

以上の内容をまとめると、本考案のワイヤレス体温の監視測定装置は確かに予想の目的および実用価値がある。しかも、産業の競争力を向上させ、実用の設計だと分かる。

专利名称(译)	体温监测和测量装置		
公开(公告)号	JP3077657U	公开(公告)日	2001-05-29
申请号	JP2000008087U	申请日	2000-11-13
[标]申请(专利权)人(译)	捷威科技股分		
申请(专利权)人(译)	捷威科技股▲分▼有限公司		
当前申请(专利权)人(译)	捷威科技股▲分▼有限公司		
[标]发明人	游朱羲		
发明人	游 朱羲		
IPC分类号	A61B5/00 G01K7/00		
FI分类号	A61B5/00.101.E A61B5/00.102.C G01K7/00.341.Z		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：提供一种体温监测/测量设备，该设备能够连接到测量位置以长时间检测和测量体温，以无线方式发送消息并发出警报。 解决方案：提供由测量设备1和接收器组成的测量板和发射板，并连接有传感传感器和显示面板。 检测传感器15被设置成从壳体的下方露出，以接触人体皮肤并测量体温。 该消息由启动板发送。 在测量仪器的下壳体的两侧上设置有锁定孔122，并且设置有用将测量仪器附接到预定位置的锁定单元3。 在接收器内部，布置有具有声音输出蜂鸣器的接收板，该声音输出蜂鸣器用于接收和通知来自测量设备的消息，并且当体温超过警告值时，测量设备无线地发送消息。 然后，接收器接收到一条消息并通过警报通知它。

